学校番号	1011

令和８年度　学 国際教養

教科	学 国際教養	科目	(学)中国語中級	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書							
副教材等	語文						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代文、古典を問わずに多彩な文章に慣れ焼しむことで、文学作品の作者の心情や表現意図などを鑑賞し一般的な読む力を培いましょう。また、文学作品を家庭生活・学校生活・自然景色・古代生活などの内容を関連つけての学習することで日常生活の中で必要な手紙や文章が正しく書けるよう学習しましょう。

2　学習の到達目標

確実に順序をふんだ読み書きの力を生活に関連させて全体的に高めている。
言葉のセンスと思考力を発達させ、よい言語資慣を養成している。
中国の言語及び文字の正確な理解を深め、運用能力、さらに鑑賞力・感性を養おうとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	中国語について、言語習慣を養成し、その特質を理解し適切に使用している。 母語に対する認識を深め、ことばの意味内容を理解することができる。	社会生活における中国語話者との関わりの中で他者の意見を聴くことができる。自分の考えを論理的に説明することができる。異なる意見をもつ他者と協働する視点をもつ。	言葉を通じて積極的に他者とかかわり、相手の考えを聴こうとしている。自分の考えを表現しようとしている。異なる意見をもつ他者と協働しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	拼音(ピンイン)確認	発音表記である拼音（ピンイン）の体系を理解できているか確認する。	a: 中国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解することができる b: 中国語を活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。 c:聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、コミュニケーションを図ろうとしている。	確認テスト ノート	確認テスト 課題提出 ノート	ワークシート 課題提出
	『背影』 「従百草園到三味書屋」	朗読しながら、文脈をまとめ事物の特徴を中心に順序よく文章を書く基礎を学ぶ	a: 目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 b: 中国語を活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。 c: 聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、コミュニケーションを図ろうとしている。	確認テスト ノート	確認テスト 課題提出 ノート	ワークシート 課題提出
2	漢詩「回卿偶書」 「春暁」 「七歩時」	漢詩のリズム。抑揚の美しさを味わう	a: 音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解できる。 b: 中国語を活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。 c: 聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、コミュニケーションを図ろうとしている。	確認テスト ノート 暗唱	確認テスト 課題提出 ノート	ワークシート 課題提出
	小説 最後一課 我的老師	同音字・形似字・多音字を学ぶ。 内容の展開を読みとり作者の心情を理解する。	a: 目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 b: 中国語を活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。 c: 聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、コミュニケーションを図ろうとしている。	確認テスト ノート	確認テスト 課題提出 ノート	ワークシート 課題提出
3	漢詩「静夜思」「錢塘湖春行』「書湖陰先生壁」 「遊山西村」 帰園田居 過敬人庄 論語	漢詩の形式を見分け、表現の特徴を理解する。 漢詩の意味を考え内容を理解する。	a: 音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解できる。 b: 中国語を活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。 c: 聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、コミュニケーションを図ろうとしている。	確認テスト ノート 暗唱	確認テスト 課題提出 ノート	ワークシート 課題提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度